

カブトムシを活かした地球市民村らしい環境学習プログラム

2005 / 05 / 12

地球市民村事務局

ねらい

「カブトムシ」の飼育・観察をきっかけに、生命の大切さと自然の不思議さに気づく。
生き物を飼育する際のモラルを通して、生物多様性や生命の進化について考える。
カブトムシの住める里山（地球環境）を保全する行動へのきっかけをつくる。

名称：「カブトムシの秘密を知ろう！」

（飼育を希望する子ども（15歳以下）にはカブトムシの幼虫観察用の飼育セットを、プレゼントいたします。各回50名まで）

内容：まずカブトムシおじさん内田龍司さんのお話を聞き、実際に幼虫を観察し、興味を持って本気で育てて、観察記録をつけてみたいという子ども（と親）に育て方を伝え、観察用の飼育セットの準備を自分でしてもらおう。最後に、「責任を持って育て、決して自然界に放さない。」（「観察記録と共に容器を返却する」）というお約束をしてもらった上で、飼育セットを託す。

日時：5月14日（土）下の計6回、各回30分程度

10:30～、11:30～、13:00～、14:30～、16:00～、17:00～

場所：地球市民村体験と交流ゾーンの自由の広場横

配布数：300匹（予備入れて400匹用意）

構成：（1回約30分）

・呼び込み・開会、内田さん紹介（3分）

1）導入：カブトムシクイズ（3分）

2）ミニ講義：カブトムシおじさん（内田龍司氏）のお話（5分）：

- カブトムシの生態と一生など、
- 幼虫の育て方（具体的にビジュアル資料など見せながら）

3）ミニワークショップ：幼虫を観察してみよう（10分程度）

- 育ててみようと思う方（観察記録をつけられる方）を、挙手などで募る
- 観察用の容器に、えさ（熟成した堆肥や土が合わされた飼料）を入れる
- 育てたい虫を多数の中から、自分で選ぶ
- 虫をえさの上において、えさに潜り込んでいく様子を観察する
- これからの育て方を、配布資料のプリントで確認する。

4）お約束（5分）

（ア）なぜ自然界に放してはいけないのか、をクイズ形式で。決して自然界に放さないことをお約束。（保護者向けの「放さないで」パンフを準備。

（イ）最後まで責任を持って育てること、観察記録をつけることをお約束

（ウ）カブトムシが住める里山（地域環境）を皆で守り育てていくことを確認して袋を配布。